

～秋の読書週間イベント～

和歌山県出身の絵本作家ナカオマサトシさんを迎え

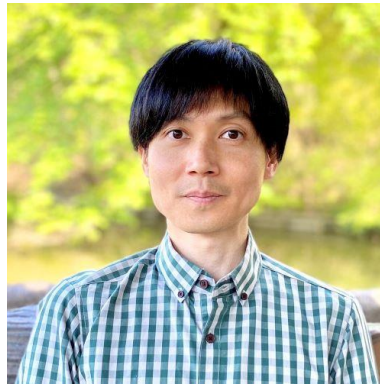
読み聞かせ、音楽、即興の物語作りなど「親子で楽しむえほんライブ」開催

絵本の絵を手がけるイヌイマサノリさんも出演。図書館を身近に、読書を楽しむきっかけに。

図書館機能を中心とする複合施設「海南 nobinos」(和歌山県海南市)は、和歌山県出身の絵本作家ナカオマサトシさんをお迎えし、秋の読書週間イベント「親子で楽しむえほんライブ」を11月12日(日)、ノビノスホールにて開催します。今回は特別ゲストとしてナカオマサトシさんの絵本の絵を手がけるイラストレーターのイヌイマサノリさんも出演し、絵本の読み聞かせや、参加者と一緒に絵本のオリジナルテーマソングを歌ったり、即興で物語を作ったりします。楽しいイベントを通じて図書館を身近に、そして気軽に自分のペースで読書を楽しむきっかけになればと考えています。

秋の読書週間 『私のペースで しおりは進む』

2023年秋の読書週間の標語は、『私のペースで しおりは進む』に決まりました。標語の作者は「しおりがなかなか進まない本もあれば、一気に読んでしまう本もあり、読み終えればどちらも、充実感や感動を得ることができます。これからも心に残る物語との出会いを求めて、私のペースで読書を楽しみたいと思います。」と述べています。「のんびりする」「のびのびできる巣」という意味が込められた海南 nobinos は、まさに自分のペースで読書を楽しむにはぴったりの場所です。まずは図書館に来て楽しいと感じてほしい。そこで沢山の本に出合っしてほしい。そしてもっと気楽に自分のペースで読書を楽しんでほしい。そんな思いから、「図書館は楽しい」と思ってもらうことにこだわり、地元和歌山県出身の絵本作家のナカオマサトシさんとともに企画しました。



ナカオマサトシさん



イヌイマサノリさん

楽しさにとことんこだわった「親子で楽しむ絵本ライブ」

当初はナカオさんの単独ライブの予定でしたが、本人からの要望もありイヌイさんと共演が実現しました。イベントでは二人のコラボ作品で「わかやま絵本大賞」受賞の『いってらっしゃいうんちくん』など絵本の読み聞かせを楽しんだ後、ナカオさんが考えた同絵本のオリジナルソングをギター(イヌイさん)やアコーディオン(ナカオさんの奥さん)の生演奏と共に会場の皆さんと一緒に歌い上げます。また、ナカオさんが参加者と対話しながら即興でお話を作り、それに合わせてイヌイさんがイラストを描くなど、子どもたちが飽きないよう工夫しながら盛りだくさんの内容でお届けします。



本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南 nobinos 指定管理者 TRC 海南(担当:山本・畠中)

〒642-0002 和歌山県海南市日方 1525-6

E-mail: lib.trc.kainan@mail.trc.co.jp

TEL:073-483-8739 FAX:073-483-8738

HP <https://kainan-nobinos.jp/>

参考

■ナカオマサトシさん講演会「親子で楽しむえほんライブ」

日時:2023年11月12日(日)

13時00分～14時30分

(12:15 開場・受付開始)

場所:2F ノビノスホール

募集人数:150名

対象:年齢制限なし

募集期間:10月1日(日)9時00分～

10月31日(木)21時00分(先着順)

参加費:無料

内容:作家さんによる絵本読み聞かせ・即興のお話作り・絵本の歌をみんなで歌おう



■ナカオマサトシ・プロフィール

和歌山県生まれ。教育テレビ番組の制作を手がけるかたわら、2012年『うれないやきそばパン』(金の星社)で絵本作家デビュー。2016年『いつてらっしゃいうんちくん』(ひさかたチャイルド)で、第4回わかやま絵本大賞1位を獲得。その他の作品に『じごくにアイス』(ひさかたチャイルド)『ようかいでんしゃ』(ポプラ社)『ガチャガチャぼん!』(マイクロマガジン社)など多数。絵本を通して、笑いと幸せを伝えることを目指している。

■イヌイマサノリ・プロフィール

1983年兵庫県生まれ。金沢美術工芸大学美術科卒。中・高・特別支援学校講師、旅人を経て絵描き・イラストレーターとして広告、書類、絵本などの場で活動中。金沢美術工芸大学非常勤講師。もりや広報大使。ナカオマサトシさんの絵本『いつてらっしゃいうんちくん』、『アイスクリームおうこく』の他、フクダ ヒデコ著『ニジエール物語』などの絵も手掛けている。

■「海南 nobinos」施設概要

名称:海南 nobinos (カインアン ノビノス)

※「のんびりする」「のびのびできる巣」という意味

所在地:和歌山県海南市日方1525番地6

Access:JR 海南駅より徒歩7分

開館時間:9:00～21:30

休館日:12月29日～1月3日

運営:指定管理者 TRC 海南

代表団体:株式会社図書館流通センター(本社:東京都文京区 代表取締役社長 谷一文字)

構成団体:株式会社明日香(本社:東京都文京区 代表取締役 萩野吉俗)

:大揚興業株式会社(本社:和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村田弘至)

施設内容:①図書館機能/蔵書冊数14万5995冊(うち絵本の冊数5万2696冊)※2023年9月末時点 ②市民活動・生涯学習活動支援機能/ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1 ③子育て支援機能/和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など ④カフェ/スターバックス コーヒー 海南 nobinos 店(館内は全て蓋つき飲み物の利用可) ⑤広場



来館者数関西一“賑わう図書館”

海南 nobinos は、図書館機能を核としながらも、ホール・貸館、子育て支援機能を持ち、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えています。ぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。2020年6月1日の開館以来、図書館に来るきっかけになるようなイベントも多数開催し、年間来館者数は59.7万人と、人口10万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西一となります(日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿 2022」より)。



海南の伝統色で彩った館内の様子